

# 大垣市立東中学校で防災講座を行いました

令和8年6月16日（火）、大垣市立東中学校で1年生235名に防災講座を行いました。この学校での講座は令和4年から毎年実施しています。

講座では、大垣市でも被害のあった伊勢湾台風や今年で発生から50年の節目を迎える9.12豪雨災害など過去の水害を学習しました。学校の近くには9.12豪雨災害の浸水位標示板が設置されており、多くの生徒が知っていました。

また、映像やVRでの浸水疑似体験や伊勢湾台風AI語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験を行いました。VRの体験後には「ハザードマップを確認したい。」「水害が怖いと思ったので、警報が出たらすぐに避難したい。」などの感想があり、AI語り部には「被害が大きかったところはどこですか?」「どのくらい水位が上がりましたか?」などの質問をし、水害の恐ろしさや伊勢湾台風について理解を深めました。

防災講座の他に、防災士によるプールの中を目隠しや長靴を履いての歩行体験も行われ、当協会の浸水疑似体験との組合せで浸水時の歩行の困難さをより実感できる形となっていました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

